

人類の未来はようになる？

Keep Dynamic Equilibrium for Humanity

福嶋良助
Ryosuke Fukushima

EICA 名誉会員

人間社会の発展は末恐ろしい

最近のニュースは私にとって信じられない発見や発見を伝えてきます。目を空に向けると宇宙への探索が目覚ましい成果を伝えてきます。何億光年も先の向こうの星座の発見や解明が報告されたり、ロケット技術の進化で惑星の土壌を持ち帰りその惑星の成り立ちを推測できる状況を報告しています。また月への人間の着陸を進め、月での人間の定着・定住や宇宙へのサテライトとしての機能を推進してきています。月には人間が生きていくうえで必須な“大気”や“豊富な水”はないが月自体が持つ資質や太陽光の利用で将来的には月環境を改造してしまうのでは…と思わせてきます。地球上だけでは物足りないのでしょうか？

一方目線を人間社会に戻すと、医学的な発見や解明が素晴らしいスピードで報告されています。人間の体の細胞数は60兆個からなっていることを教え、夫々の細胞の役割・機能が解明されてきています。医学分野では“動的平衡”がよく説明されています。人間の細胞は数か月の間に破壊されますがそれと同時に新しい細胞が生まれ、すべての細胞が一新されます。ところがその前の情報は確実に伝わって経験や頭脳を引き継ぎます。不思議な伝達です。この動的平衡を繰り返しながら体の順応性を育て上げてきています。医学の発展は、遺伝子の組成を解明し、その制御で新しい細胞を創造しようとしています。再生治療などはその恩恵を人類に提供するものとして期待されています。しかしその発展には危うい危険性も指摘されます。極端に言えば人工人間の発現が懸念されますが、ここは人間として侵してはならない領域かと思えます。また最近急速に成長している“AI”という技術がこの分野に組み込まれ、人工知能が開発した人間をも凌駕した生物体にならないか危惧されます。本当の制御は人間であることが守られないといけない。

他にも地球物理学の発展とともに、物づくり技術の発達には種々な分野で寄与していることも忘れてはなりません。ドローン技術の進歩で農業技術の改善や災害下での人間に代わる貢献も進んでいます。戦争などへの悪用も気になりますが…。

これらの科学技術の発展の基礎をなすCPUの高速

化・小型化が大きな要因です。我々が想像も出来ない速さで情報を処理し、システム構築することで、ある面人間を凌駕した成果をもたらしています。更に自分で経験を生かして頭脳を構築させてきています。先に記載した“人工頭脳AI”です。このAIを制御することを人間は忘れてはいけません。そのキーワードは“欲”です。欲こそは人類が減ぼされず生き永らえてきた原動力かと思えます。AIに自己知能でその“欲”を持たせたら人間の破壊に繋がるように思われます。

人間社会の不条理な争い

自然科学の驚異的な発展がなされている中、人間社会を見てみるといかにくだらな“戦争”を行っているのでしょうか。人間には理性や調和がないのでしょうか。私達日本人には理解しがたい戦争が現実に行われています。世界各国の知性が集まって解決策を模索しているようですがその成果は一向に見受けられません。本当に・本当にくだらない事ですね。民族間で過去に壮絶な争いがあったことに起因して現在まで引きずって来ているようです。根底には貧困や経済上の利得の争奪があるようですが…。人類が有史以来現在まで培ってきた進歩の根源は「より良い生活への欲望」と言えそうです。この“欲”が人間社会での争いを生じ営々と続いています。“核”を用いた戦争は地球上の破滅になりかねず、何としても避けなければなりません。人文科学面（宗教者や哲学者）の上位な導きが必要と思っています。人文系の関係者の大いなるリーダーシップのもと文化を共有させ民族間の調和へ寄与を期待したいものです。

穏やかな田舎生活

社会活動から一線を引き穏やかな田舎生活をしています。極力スローライフを志し、田舎の自然の営みに心ませつつ河川の堤防に腰を落とし流れゆく“水”に見入っています。過去を思い出しながら…。何十年も同じような光景ですが、流れていく“水”は時々刻々変わっているのです。一種の“動的平衡”ですね。傍に柴犬を座らせてすでに30分以上居ますが我が家の柴犬はまるで哲学者のように、吠えず静かに主人に

寄り添っています。この子が早いかそれとも私が早い
か、そう遠からず次の世界に逝くのですが…。

科学技術の急速な発達に驚き、その成果物の恩恵を
授かって穏やかな生活に感謝しつつ一方で急ぎすぎる
が故の間違いを心配していますが、それはリタイアし

た年寄りの老婆心に過ぎないと思っています。やはり
人間社会にも“動的平衡”が行われ、次々と若い次世
代が育って行くものと信じています。百年、千年と私
たちの子孫が生き延び育って行くことを祈っています。